

経過報告

1、2008年度経過について（2008年9月から2009年8月）

（1）2008年度の執行体制は、2008年8月25日実施の支部役員選挙において確定されました。各班から1名ずつ選出する執行体制の2年目になります。各班では、基本的に1年交代のシフトがひかれている関係で、2007年度に引き続いて立候補したのが3名でした。この役員選挙の特徴は、2年続けて書記長の立候補がなく、11名が新しい立候補者であるため、執行部・班長・組合員とより連携をとりながら継続した支部運営を進めていこうとスタートとしました。

（2）2007年度は組合バッシングや公務員バッシングの痛手を受けた中で、支部運動を進めていく柱として、「公衆衛生闘争の確立」「支部組合員の交流」の2本の柱を立てての活動を進めました。

公衆衛生の情報提供は、「変革の今、改めて公衆衛生について考える」学習会を開催しました。

支部組合員の交流は、支部諮問委員会を新たに設置し、局・保健所・事業所班と意見交換を行い、意識調査としてアンケート形式で実施することによって、2008年度の大会でも報告を行いました。交流を通じて多くの職種がいて、分散した職場の支部実態を肌で感じることができた組織強化のとりくみになりました。

さらに、自治労共済、大阪市職慶弔見舞金制度、支部慶弔制度を通じ「慶弔見舞金制度」を浸透させることで、助け合い・相互扶助の組合本来の持つ活動も職場の中で浸透してきたところです。

（3）2008年度も、引き続き「公衆衛生闘争の確立」「支部組合員の交流」を2本柱として活動を進めることとしました。

組織的な課題として、2008年11月4日市内5カ所に生活衛生監視事務所が設置されました。人の流れで、24の区役所支部に配属されていた組合員（監視員）が環境保健支部に異動を持って支部帰属が変更する対応と、支部の受け皿を確保するため、支部に梅田副支部長と監視員の執行委員で構成するプロジェクトを立ち上げ、初めての経験に対応することとしました。

10月22日に市職本部・区連ブロック・環境保健支部による支部帰属の異動のスケジュールの統一を図りました。内容は、それぞれ所管する支部の変更、市職共済の異動、労働金庫の異動などについて、12月1日を基準日に支部帰属の変更を行うことで、具体の事務の取り扱いをすることになりました。

支部は、11月21日に生活衛生監視事務所の組合員の方と交流会を開催し、顔

合わせ、こころ合わせを行いながら、12月1日の支部帰属の課題、年度途中の5カ所の班組織の課題など、具体的なとりあつかいについて意見交換を行いました。

(4) 2009年4月から実施された組合費のチェックオフ廃止について、2009年3月末までのとりくみ、4月1日以降の昇任・所属間・新規採用者など異動にかかる対応について、各班とも連携しながらとりくみを進めてきました。

今後の課題としては、給与振込口座の残高不足や休職者の組合費の納付について、本部から確認が求められてきています。支部と班と連携を持ちながら、課題の克服に努めていきます。

(5) 公衆衛生闘争の確立のとりくみについて、支部として2009年4月から大阪市健康増進計画にある「すこやか大阪」のパートナーに登録されたことが、特筆できることです。

支部は、公衆衛生闘争の確立を掲げていますが、そのとりくみを成就させていくためには、支部の内部での運動はもとより、市民・市民団体・民間企業などとの協働をめざしていかなければなりません。その一歩としてすこやかパートナーに登録をすることや、パートナー同士の交流をつうじて公衆衛生闘争の確立「健康づくり」にこだわった運動を進めていかなければなりません。

具体的な活動としては、6月27日に支部健康づくり広場を開催しました。開催するにあたって5月20日にすこやかパートナーの「カゴメ(株)大阪支店」と顔合わせを行いました。

支部としても、民間企業との交流は初めてのことです。そのため、交流の基準づくりを固めてしまうより、「健康づくり」をめざすことで合意することを基準に進めることとしました。セミナーの講師派遣ではなく、パートナーとしてカゴメ(株)大阪支店による「野菜と植物性乳酸菌で毎日の健康応援セミナー」を開催しました。

さらに、協働を進めることとして、2010年1月23日に開催したすこやか健康ジョギング・10kmランにおいても、協力をいただくことができました。

(6) 組合員との交流について、拡大福対委員会、所属間人事交流会、支部健康づくり広場、支部諮問委員会、春闘決起集会を開催し、多くの組合員と交流を行いました。

また、2008年10月19日にびわ湖で開催された外来魚駆除のとりくみ、2009年2月21日に長居競技場で開催された市職駅伝大会に3チームが出場したことなど組合員の交流を図ることができました。

(7) 機関会議の開催は、年次大会1回、支部中央委員会4回、班長連絡会1

回と開催しました。2009年7月1日に開催した支部諮問委員会において、支部の組織強化につながる課題として、機関会議の開催は年4回の中央委員会と年次大会の1回という答申をいただきました。支部としても、答申を受けとめながら、効果的な機関会議を開催することで支部の組織強化につなげていくこととします。

さらに、分庁支部連絡協議会（分支連）の学習会・幹事会・総会は6回、大都市共闘衛生部会の分科会・幹事会・総会は3回参加し、組織的な連携を深めることができました。

（8）公衆衛生が危機管理とも連動した事案が発症したのが「新型インフルエンザ」でした。

2009年4月25日のメキシコで発症、4月28日に大阪市新型インフルエンザ対策会議、5月16日に大阪市新型インフルエンザ対策本部会議、5月17日に大阪市で発症、発熱相談、病院でのパニック、学校園の休校など社会的にも大きな影響がありましたが、保健所・病院を中心に適切な対応により感染拡大の防止や患者の治療に全力を挙げて、正しい情報を提供することでパニックを回避することができました。

今後とも、警戒を怠ることなく、市民の健康づくりの確立のため、第一線で正確な情報を提供することや迅速な対応を心掛けるよう体制確立をめざしていかなければなりません。

（9）要員確保のとりくみにもあるように、2009年度は要員にかかわる事業・要員にかかわらない事業の提案がたくさんありました。

市民の健康づくりの確立のためには、健康診断、がん検診、感染症対策など局・保健所・保健福祉センターでの事業をはじめ、生活衛生監視事務所、食肉衛生検査所をはじめとした食の安全、こころの健康センターでのこころの安全のとりくみなど多種多様な事業展開が図られており、今後、支部としても班・職場とも連携を行いながら、2010年度の要員確保のとりくみを行わなければなりません。

主な日程

2008年10月19日	外来魚駆除のとりくみ（びわ湖）
10月21日	支部中央委員会
10月22日	生活衛生監視事務所にかかわる市職本部・区連・環境保健支部 関係支部会議
11月4日	生活衛生監視事務所
11月7日	班長連絡会
11月21日	生活衛生監視事務所支部交流会
12月1日	支部帰属変更（生活衛生監視事務所）
12月4日から5日	大都市共闘総会・衛生部会幹事会
12月9日	拡大福対委員会
2009年1月13日	分支連幹事会
1月16日から17日	分支連拡大1泊幹事会（京都市）
1月23日	分支連学習会
2月18日	支部中央委員会・春闘決起集会
2月20日から21日	大都市共闘衛生部会・分科会（京都市）
2月21日	市職駅伝大会（3チーム参加）
3月11日	支部年次大会
3月19日	反戦集会（5%扇町公園デモ）
3月30日	支部中央委員会
4月1日	新規採用者組合加入オルグ
4月16日から18日	全国自治研集会(北海道)
4月25日から26日	大都市共闘衛生部会・幹事会（新潟市）
4月30日	分支連幹事会
5月1日	メーデー
5月27日	分支連懇親会
5月29日から30日	大都市共闘衛生部会・総会（新潟市）
6月17日	拡大福対委員会
6月24日	所属間人事交流会
6月27日	支部健康づくり広場
7月1日	支部諮問委員会
7月15日	支部中央委員会
8月20日から22日	保健医療集会(福島県)
8月21日	支部役員選挙
8月25日から28日	自治労大会（熊本県）